

# わたしたちの人権 70

だれもが人間として生きていくうえで  
 侵すことのできない当然の権利  
 これが『人権』です

## 差別のない社会づくりを目指して

7月に開催した山都町人権を考える町民の集いでは、「誰もが排除されない（差別されない）社会」や「差別をなくす主体者」といったことがテーマにあげられました。差別のない社会づくりを進めるうえで、今回はそのテーマについて考えてみたいと思います。

### ■「差別されない」とは

例えば、女性差別の問題は、男性が女性差別を引き起こすもので、女性自身の問題ではありません。また、障がい者差別の問題は、健常者が障がい者差別を引き起こすもので、障がい者自身の問題ではありません。同様に、部落差別の問題も、同和地区外の人たちが部落差別を引き起こす

すもので、同和地区に住む人たちの問題ではありません。

このように、あらゆる差別問題には、「差別する人」がいるから「差別される人」がいるという関係性があることが分かります。「差別されない」という言い方をすると、本人の意思によって差別を受けなくすることができるようになるかもしませんが、「差別する人」がなくなるに限り「差別されない」という状況は生まれてこないのです。つまり、「差別されない」とは、「差別をする人がいない」ことであるといえます。

ここで重要なのは、「差別する人」がいるから差別問題が起こる」という関係性をしっかり認識しておくことです。この関係性を認識しておく

ないと、「差別される人がいるから差別問題が起こる」という誤った考え方をもち、差別問題の責任を差別される側に押し付けることになってしまいます。

### ■正しく知る

同和問題について、「そっとしておけば自然に解決するのではないか」、「教えるから差別が広がるのではないか」という誤った認識を持つ人がいます。いわゆる「寝た子を起すな」という考え方です。これは、同和問題の本質から目をそむけて隠そうとするものであり、決して問題の解決につながるものではありません。

また、「同和地区をなくせば部落差別もなくなるのではないか」という間違った考え方を持つ人もいます。部落差別の問題を同和地区に住む人のせいにしたものですが、「差別する人がいるから差別問題が起こる」という関係性からしても、この考え方が間違っているということが分かります。

正しい認識がなく、誤った事実や偏見が自分でも知らないうちに身につけてしまっていると、同和問題の本質から目をそむけて隠そうとしたり、部落差別を同和地区に住む人のせいにしてしまうことがありません。同和問題の解決を図るうえで必要となるのは、同和地区の存在や部落差別を隠してしまうのではなく、同和地区出身であっても差別されない社会を築くことです。

さまざまな差別問題を考えてみても、『私は〇〇です』と話しても排除されない（差別されない）社会の実現を目指すことが、問題の解決につながるのではないのでしょうか。そして、そのような社会を築くのは、私たち一人ひとりの責務であるといえます。



### 季節のうた

- ▼清和短歌会
  - 晩秋の朝ごと艶めくダリア花しばし見つけて牛舎に入りゆく 梶原徹
  - 全山を染めし紅葉も色あせて寒気強まり裸木となる 渡辺辰男
  - 年不作一つも稔らぬ老柿がカサリカサりと冬の音たてる 大塚兼司
- ▼馬見原酔山会
  - 休耕の田の賑わいや草紅葉 大西久美子
  - 廃屋の壁を彩り蔦もみぢ 長谷野澄博
  - 朝な夕な裸木増ゆる里廻かな 渡辺勝子
- ▼やまなみの会
  - 絵葉書に孫と曾孫の字がおどる時折りポストを見舞いてうれし 荒木由紀子
  - 静と動国技の相撲まのあたり奥の深さを今更思う 山下弘子
  - 夏空が広がる下の稲穂揺れ自が豊作を知らずする如く 田代エミ
  - 幸せな気分なので大花野 草樹萌
  - 露けしや二十前後の兵の墓 岩村ヨシ子
  - 丸々と孕む落鮎錆の色 今村芳子
- ▼通潤句会
  - 縄張りのまだ決まらずや鴨高音 菊池成河
  - 早々と灯を消す山家鹿鳴けり 中村暢子

### 1月の当番医

1月1日	坂本クリニック (電話72-0210)
1月2日	伴病医院 (電話72-0029)
1月3日	野田医院 (電話72-0307)
1月9日	瀬戸病院 (電話75-0111)
1月16日	蘇陽病院 (電話83-1122)
1月23日	高田整形外科 (電話72-1007)
1月30日	坂本クリニック (電話72-0210)

### 山都町の人

(平成22年11月30日現在)

男	8,770人 (-24)
女	9,381人 (-12)
計	18,151人 (-36)
世帯	6,769戸 (-10)

※ ( ) は前月比  
 ※最高齢は105歳〔女性1人〕  
 ※1月1日～11月30日の出生届数 89人〔うち11月は5人〕  
 ※1月1日～11月30日の死亡届数 280人〔うち11月は25人〕

### お名前が「つばめ・さくら・みずほちゃん大募集」

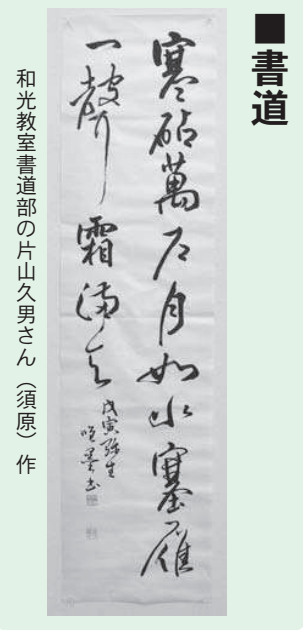
九州新幹線新駅一日駅長さん大募集！  
 いよいよ3月12日(土)に九州新幹線が全線開業します。開業当日、熊本駅・新玉名駅・新八代駅において出発式・開業記念式典が行われます。その出発式で発車号令を行う「一日駅長さん」を募集します。

応募資格  
 次の要件をすべて満たす方  
 ①県内在住  
 ②5歳～12歳(平成23年3月31日現在)  
 ③名前が、「つばめ」「さくら」「みずほ」と読む方(男女不問)  
 ④開業日当日午前5時に各駅に会場可能な方(保護者同伴)

募集人数  
 熊本・新玉名・新八代の各駅1～3名  
 ※応募者多数の場合は抽選

応募方法  
 ハガキに①お子様の氏名・年齢②保護者氏名募集期間 平成23年1月31日 ※当日消印有効  
 ③住所④電話番号を明記の上ご応募下さい。

応募先  
 熊本県新幹線建設促進期成会事務局  
 (熊本県交通対策総室 新幹線・並行在来線対策室)  
 〒862-8570  
 熊本市水前寺6丁目18-1  
 TEL 096-1333-2167



山都町観光案内所  
 ギャラリー喫茶「ルポン」  
 1月の催し 『山村風景』  
 國武賢聖さんによる農山村のうつくしい風景画約20点を展示します。  
 期間は1月6日(木)～31日(月)です。